

オオヤマ カイドー ニュース

#工事レポート

vol. 10

オオヤマカイドーニュースとは？

大山街道（宮益坂・道玄坂）の整備に関わる耳より情報を発信します！

オオヤマカイドーニュースvol.10では、令和8年3月に完了した、宮益坂（坂中区間）の整備工事についてレポートします！歩道が広がり、新しい舗装、道路照明、スツールなどが設置され、大きく姿が変わりました。今回は、地元宮益坂から菅野さんと、宮益坂・東口地上広場のデザインを行っている(株)イー・エー・ユーのスタッフの安仁屋さんに、整備工事の振り返りや今後の展望についてお話を伺いました。

宮益坂（坂中区間）のリニューアルが完成！



整備前(平成28年11月)

整備後(令和8年4月)

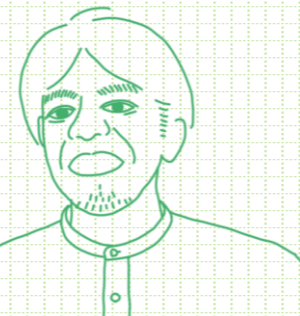
GUEST SPEAKER に聞く 大山街道（宮益坂・道玄坂）にまつわる思い出はありますか？

渋谷で生まれ、小学校2年生ぐらいまでこのあたりに住んでいました。その頃は、宮益坂には都電が走っていて、車もそれほど多くなかったので、三輪車で遊んだ記憶がありますね。時代に合わせて街が新しく、より良くなっていくのはとてもありがたいことです。

社会人になって足が遠のいていましたが、大山街道整備事業に関わるようになってからは、一本裏の道の魅力や神社の存在など、宮益坂の素敵な個性を発見できました。お神輿が坂を練り歩くのを見たときは、観光地や遊び場だけでなく「日常が営まれる場所」としての渋谷を実感しましたね。

菅野さん

(渋谷宮益商店街振興組合 理事長)



安仁屋さん

((株)イー・エー・ユー)

整備前から変わったと感じる点は何ですか？ 人の行動にはどのような変化がみられますか？

菅野さん) 整備前と比べて歩道が広がったことが最大の変化で、歩きやすさが格段に向上しましたよね。「歩きたくなる」感覚が生まれることが大切だと思っていて、坂の途中で休憩したいニーズに応えてくれる新設ベンチは、人の流れだけでなく滞在を促す空間を生み出したと感じています。

施工で難しかった点がありますか？

安仁屋さん) コンセプトである「**緑に包まれたGROUND CANVAS**」実現のため、道路空間は主張しすぎず、質の高い基盤とするイメージを持っていました。現場の制約上、図面通りには工事が進まないなか、目地のずれなどを修正してコンセプトを形にするのは困難でした。それでも、コンセプトを深く理解した渋谷区や施工会社と現場で直接やり取りを重ねられる体制が構築できました。**施工フェーズで関係者全員がここまで協力的なプロジェクトは珍しく、おかげで良い仕上がりに繋がった**と思います。

宮益坂らしさはどう表現されていますか？

菅野さん) 坂下から見上げたときの景観のアクセントとなる**ケヤキ並木が、宮益坂らしさの象徴**だと思っています。本整備で、この並木をコンセプトの中心に据え、伐採せずそのまま保存してくれたことが地元として最も嬉しい点ですね。

安仁屋さん) **ケヤキを大切に**する方針は、初期段階から**デザイナー、専門家、地元関係者の共通認識**でした。台風などによる倒木の危険性があるものは一部植え替えを行いながら、今後も並木として保存していくはずで。

全国各地の公共空間に携わるデザイナーとして、宮益坂での仕事の難しさや楽しさがあれば教えてください！

安仁屋さん) 関係者が非常に多いことが都心プロジェクト特有の難しさです。しかし、**コンセプトが固まってからは一体となり、ほとんどブレずに進められた**のは特筆すべき点です。また、地方都市とは比較にならない歩行者数なので、設置したベンチが実際に使われる様子などに大きなやりがいを感じています。将来的には、柵を外し広場的に使えるようにする想定もあり、利用方法のバリエーションが無限に広がる可能性は、渋谷ならではの楽しさであり、魅力ではないかと思えます。

渋谷にとって、宮益坂は将来どんな通りになるでしょうか？

安仁屋さん) 東口広場の整備が進めば、**渋谷駅宮益坂口に立った人に「緑に包まれた良い空間」という強い印象**を与えるはずで、スクランブル交差点側だけでなく宮益坂側にも人の流れが向かうことが期待されます。**宮益坂が緑に囲まれ、人々が思い思いに過ごせる「渋谷の庭」のような場所になること**を妄想しています。

大山街道（宮益坂・道玄坂）整備事業について

渋谷区では、渋谷駅から東西に延びる大山街道（宮益坂・道玄坂）において、歩行者中心の道路空間の実現を目指しています。これまでに、車線数の縮小や路上駐車削減のための社会実験等を経て、現在の整備につながっています。これまでの取り組みについては、区ポータルにて情報発信を行っています。

詳細は
区ポータルへ

渋谷駅中心地区大規模再開発について

渋谷駅中心地区は官民パートナーシップの下に、渋谷駅の機能更新と再編、駅前広場や道路などの公共施設の再編・拡充及び都市再生特別地区の指定を受けた大規模複合開発ビルを一体的に行うことにより、100年の一度の渋谷駅周辺の再生が進められています。渋谷駅中心地区工事・工程協議会（CM会議）では、段階的に整備される渋谷駅周辺の状況や工事情報の発信を行っています。

詳細は
CM会議HPへ

ケヤキの周りに配されたスツール



横断抑止柵は支柱・ビームとも取外し可



「宮益坂」の文字が記された道路照明柱